

令和3年度

第1回総合教育会議 会議要点録

日 時	令和3年8月20日(金)午前10時から午前11時10分まで
場 所	大府市役所 庁議室
出 席 者	市長、教育長、西村教育委員、富田教育委員、竹中教育委員、浅井教育委員、永田教育委員
企画政策部	企画政策部長、企画広報課長、企画政策係長
教育委員会	教育部長、主席指導主事、学校教育課長、指導主事(2)、学校総務係長、学校総務係主査、学校施設係長
オブザーバー	山内副市長
公開の可否	公開
傍聴者数	3人
議 題	(1)通学路の安全対策について (2)ICT教育に関わる動向について

開会

1 あいさつ

- 市長
- ・市内でも新型コロナウイルス感染者が増えている。今後、ワクチン接種を更にスピード感を持って進めるとともに、更に市民に基本的な感染症対策について呼び掛けていく。
 - ・本日の重要な協議事項について忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。
- 教育長
- ・現在は夏休みだが、学校をクラスターにしないという思いで感染症対策をしている。また、この先、リモート、オンラインの対応ができるよう体制を整えている。
 - ・子どもたちが元気に学校生活を送れるよう2学期をスタートしたい。

2 協議・調整事項

(1)通学路の安全対策について

《事務局から内容について説明》

- 学校施設係長
- ・令和3年6月、千葉県八街市でトラックが小学生の列に突っ込み、児童5人が死傷する事故が発生した。事故を受け、通学路の安全対策が全国的に注目されている。
 - ・本市の交通安全の取組として、各小中学校の学校経営案で位置付け実施している。具体的には、交通安全教室や、家庭、PTA、地域との連携による定期的な集合場所及び通学路点検、定期的な通学団会による交通安全指導の実施が

挙げられる。

・平成 27 年 11 月に策定した「大府市通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会、学校、道路管理者及び警察が連携し、通学路の安全確保を図っている。また、危険箇所の抽出、対策の要望、合同点検の実施、対策実施後の評価と改善を毎年度繰り返し実施している。

・主な安全対策要望としては、防護柵、ミラー等の設置、路面標示、交差点カラー塗装（赤塗）などがあり、市で対策をし、または、県、県警への要望を行っている。

・千葉県事故後の対応について、国の通知に先立ち、全小中学校の通学路の危険箇所の緊急点検を行い、対策に向けた準備をしている。

・防護柵や区画線を 33 か所の交差点や道路に速やかに設置することとし、その費用を令和 3 年 9 月議会の補正予算として計上する。

・その他の箇所については、市道に関するものは本年度又は来年度予算で実施し、県や警察等に関するものは個別に要望をしていく。

教育長 ・ご質問などお聞かせ願いたい。

西村委員 ・毎年、PTA から教育要望が出されるが、その内容がどの程度盛り込まれているか。

学校施設
係長 ・教育要望は毎年、各校 3 か所ずつ、全校で計 39 か所となる。それ以外に市民からの要望も含めて通常よりも早く緊急点検を行い、緊急に 33 か所の対策を行う。

永田委員 ・家庭や地域とはどのような連携をしているか。市で歩くイベントがあるが、そのような機会を点検に生かせるとよい。

学校施設
係長 ・家庭からの意見が PTA に上がっていく。教頭が地域の会合等に参加することがあり、御意見をいただく。

富田委員 ・歩道がなくてもグリーンベルトがあると、運転者も意識できて安心感が高まる。要望には対応してほしい。

・定期的な通学団会による交通安全指導の実施の重要性を理解している。通学団での登校の様子をみていると、班長の児童が低学年の児童の安全を気にしている場面を見かける。班長全員の意識向上にも努めてほしい。

学校施設
係長 ・グリーンベルや交差点の赤塗りなどの対策を進めている。

主席指導 ・各学校において、班長への指導、その他児童への指導の工夫をしている。

主事

市長

・毎年、プログラムに基づいて対策を行っているが、千葉県の事故を受けてスピード感を持ち、9月議会の初日議決に向けて手続きを進めている。県、県警への要請も進めていく。

・教育要望について最大限尊重しており、今後も尊重していく。小中学生への交通安全教育についても取り組んで行く。

教育長

・通学路の整備については、市長部局の協力を得て、かなりのスピード感で取り組んでいる。また、通学路の変更などについても検討している。

(2) ICT教育に係る動向について

《事務局から内容について説明》

学校教育係

主査

・令和2年度末までの状況として、国の「GIGA スクール構想」に基づき、国の補助金を活用して、小学校4年生以上に1人1台のタブレット端末を整備した。

・学校生活におけるICT機器の活用を進めるとともに、家庭と学校をオンラインで接続できるよう家庭への端末の持帰りをを行い、接続試験などの準備を進め、臨時休校の必要性が発生した場合にも教育を継続できる環境の整備を進めた。

・活用事例として、授業におけるグループ活動や調べ学習での活用や、長期欠席時にオンラインでの授業参加、宿題をクラウド型の学習ドリルで提示、課題提出時に授業支援ソフトを活用、修学旅行・校外学習時の調べ学習のツール、体育祭や文化祭、各種説明会などのオンライン配信、タイピング技能を競う大会を学校対抗で実施などが挙げられる。

・1人1台端末の導入により授業への活用頻度は向上しており、令和元年度は、1クラスあたり、小学校で0.4コマ/日、中学校で0.2コマ/日だったが、令和2年度には小学校で1.0コマ/日、中学校で1.7コマ/日となった。

・令和3年度は、教職員のICT活用指導力の向上のための教育情報化指導員(通称GIGA OBU 教育指導員)の配置や、小学校1年生から3年生までのタブレットをiPadに更新、追加し、同学年で3クラスに1クラス程度の台数の整備を行う。また、学習系インターネット回線の接続方法を変更により通信負荷を分散することでタブレットの増台や遠隔教育に対応した通信環境を整備した。他にも、就学援助受給世帯にはモバイルWi-Fiルーターの貸与している。また、学習者用デジタル教科書の導入を促進するため、文部科学省のデジタル教科書実証事業への参加、ICTの推進に関する愛知県の委託研究事業を本市が受託し、年度内に公開授業することなどを予定している。

・今後の検討事項としては、小学校低学年向けの1人1台端末の整備や、デジタル教科書の活用について検討している。

・学習活動におけるICT活用だけでなく、今後は、学校における各種事務のデジタル化やペーパーレス化を進める必要がある。本市では、保護者への文書配布

や欠席連絡をスマートフォンのアプリケーションで行うことができるシステムの導入について実証実験を行っている。

- 教育長
- ・ご意見ご質問をお聞かせいただきたい。
- 浅井委員
- ・タブレットは素晴らしい学習ツールで、タブレットペンでの漢字の書き取りも良いが、筆圧の面等から紙に書くということも大切にしてほしい。
 - ・タイピングはかな入力よりもローマ字入力が望ましいと思う。
 - ・これらの ICT 活用は教員の多忙化にはなっていないか。
- 指導主事
- ・低学年では特に紙に書くことを重視して指導している。
 - ・タイピングはローマ字入力で、3年生でローマ字を習う。
 - ・教員が ICT について知識を付けなくてはならないという点では大変さはあるが、学習面、事務処理で便利になり省力化に繋がっている。
- 竹中委員
- ・東山小学校でフューチャースクール事業として ICT に取り組み始めて、その後8、9年経ち、現在では大府市の ICT 教育はとても進んだ。当初から大府市は多額の投資をし、教員の努力で子どもたちは自然と ICT 機器が扱えるようになってきている。これは教育の一部ではあるが、学校訪問をして感動した。
 - ・また、電子黒板の活用も良いが、板書の良い面も生かして指導に取り組んでいることもとても良いと思った。
- 西村委員
- ・児童の視力低下について危惧している。タブレットがすべての原因ではないと思うが、授業等での姿勢についての指導も期待している。部屋の明るさにも気をつけてほしい。
- 主席指導主事
- ・視力検査は健康診断で行っており、保健室に行けば、いつでも視力検査は可能となっている。照度検査も定期的に行っている。
- 富田委員
- ・クラスの中で児童によって学力の違いがある状況で、タブレットを用いて個に応じた学習をさせることは可能か。
 - ・長期で学校を休んでいる児童の学力保障についてタブレット活用は可能か。
- 指導主事
- ・個に応じた対応は検討していかなければならない。クラウド型ドリルでは対応が可能な面もある。
 - ・長期で休んでいる児童のタブレット活用はこれから進めていかななくてはならないと考えている。
 - ・レインボーハウスでオンラインで授業を受けた例もある。

浅井委員 ・不登校の児童生徒向けのオンライン配信について、それぞれの担任が対応することになると思うが、例えば、共通のオンライン配信で対応できる場面があれば効率の面ではよい。

永田委員 ・タブレットの自宅持ち帰りについて、オンライン学習ソフトの利用状況はどのようなか。

学校教育課 ・昨年度の取組だが、導入当初は利用率が高かった。

主査

市長

・タブレットは可能性を秘めたツールと考えている。様々な活用が進んできているが、英語教育でも更に積極的に活用していただきたい。

・小学校低学年では、タブレットの活用のみならず、読み書きそろばんもしっかり指導していただきたい。